Ⅲ　本年度の主なる事務事業

１　いわき市水道事業第三期拡張事業（Ｐ33）

（1）　事業概要（Ｐ33）

（2）　事業費及び財源（基幹浄水場連絡管整備事業）（Ｐ33）

（3）　平成26年度事業内訳（Ｐ34）

２　第五次配水管整備事業（Ｐ35）

（1）　事業概要（Ｐ35）

（2）　事業費及び財源（Ｐ35）

（3）　平成26年度事業内訳（Ｐ35）

３　いわき市水道事業経営審議会（Ｐ36）

（1）　第14次いわき市水道事業経営審議会からの答申（Ｐ36）

（2）　第15次いわき市水道事業経営審議会への諮問（Ｐ39）

４　いわき市水道水源保護審議会（Ｐ40）

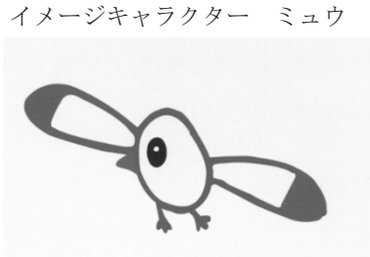
（1）　第10次いわき市水道水源保護審議会からの答申（Ｐ40）

（2）　第11次いわき市水道水源保護審議会への諮問（Ｐ43）

市の鳥　かもめ（平成８年10月１日制定）

市制施行30周年を記念して制定されました。
かもめは身近な海鳥として、ひろく一般に
知られています。
本市には約60kmにわたる美しい海岸線があり、
市のイメージに最もふさわしい鳥です。

イメージキャラクター　ミュウ



Ⅲ　本年度の主なる事務事業

1　いわき市水道事業第三期拡張事業

(1) 事業概要

本事業は、基幹浄水場の増設、隣接簡易水道の上水道編入及び北部地区の新規需要への対応並びに災害時等の安定給水確保のために施設整備等を行うもので、平成４年度から平成20年度までの17か年を前期、中期、後期の三継続事業に分割して実施し、平成21年度からは基幹浄水場連絡管整備事業を実施している。

前期事業は、施行年度を平成４年度から平成８年度までの５か年とし、平浄水場増設工事等を実施し、事業費 137億 5,621万７千円で完了した。

中期事業は、施行年度を平成９年度から平成14年度までの６か年とし、北部地区の新規水需要への対応と小規模浄水施設のバックアップのための送・配水施設の整備を実施し、事業費 128億 2,052万３千円で完了した（平成14年度から平成15年度に繰越した事業費２億 1,285万５千円を含む）。

後期事業は、施行年度を平成15年度から平成20年度までの６か年とし、主に基幹浄水場配水運用対策として平浄水場と上野原浄水場を連絡する水系幹線等を整備し、事業費67億 9,363万８千円で完了した（平成20年度から平成21年度に繰越した事業費１億 441万１千円を含む）。

基幹浄水場連絡管整備事業は、平常時の効率的な配水運用を可能にするとともに、震災時や水質事故時等の非常時でも安定給水を確保することを目的として、既設水道施設の更新を兼ねながら基幹浄水場間で相互融通できる水系幹線等の整備を行うもので、26年度は10億 4,763万７千円の事業費で、平第２配水池及び平ポンプ場の新設関連工事を実施した。

(2) 事業費及び財源（基幹浄水場連絡管整備事業）

ア　事業費　　（単位：千円）

区分	実績		
	平成21～25年度	平成26年度	合計
配水施設			
平第２配水池新設	815,628	414,150	1,229,778
平ポンプ場新設	448,007	532,850	980,857
水系幹線新設	1,757,712	0	1,757,712
消火栓施設	471	0	471
用地費	8,750	0	8,750
測量調査費	213,467	63,250	276,717
補償費	17,138	0	17,138
負担金	366	174	540
事務費	197,383	37,213	234,596
合計	3,458,922	1,047,637	4,506,559

※　平成21年度には後期事業の繰越分（平成20年度からの繰越額 104,411千円）を含まない。

イ　財源　　（単位：千円）

区　　分	平成21～25年度	平成26年度	合　　計
企業債	1,689,100	315,900	2,005,000
国庫補助金	0	0	0
自己資金	1,128,649	221,613	1,350,262
工事負担金	0	0	0
他会計負担金	471	0	471
他会計出資金	640,702	510,124	1,150,826
合　　計	3,458,922	1,047,637	4,506,559

※　平成21年度の企業債は後期事業の繰越分（平成20年度からの繰越額70,400千円）を含まない。

(3) 平成26年度事業内訳　　（単位：千円）

区　　分	事業費	施行内容
1　配水施設		配水施設
平第２配水池新設	414,150	平第２配水池新設工事（土木）外１件
平ポンプ場新設	532,850	平ポンプ場新設工事（土木・建築）外２件
水系幹線新設	0	
2　消火栓施設	0	
3　用地費	0	
4　測量調査費	63,250	鹿島常磐水系幹線測量調査設計　外２件
5　補償費	0	
6　負担金	174	研修負担金
7　事務費	37,213	
合　　計	1,047,637	

（配水課）

2　第五次配水管整備事業

(1) 事業概要

本事業は、漏水や赤水発生の未然防止、および管網の再構築による配水運用の強化を図ることを目的として、大正中期から昭和40年代にかけ布設された鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄管等の布設替えを行うもので、平成23年度から実施しているものである。

平成26年度は５億 2,307万の事業費で、常磐関船町志座配水管改良工事外11件を実施した。

(2) 事業費及び財源

ア　事業費

区　　分	実　　績		
	平成23～25年度	平成26年度	合　　計
配水管布設替延長（ｍ）	3,554	2,356	5,910
事業費（千円）	1,166,315	523,079	1,689,394

イ　財源　　（単位：千円）

区　　分	平成23～25年度	平成26年度	合　　計
企業債	741,900	191,100	933,000
国庫補助金	0	0	0
自己資金	414,506	323,630	738,136
他会計負担金	9,909	8,349	18,258
合　　計	1,166,315	523,079	1,689,394

※　平成25年度企業債（ 445,100千円）は平配水池老朽管改良工事を含む。

(3) 平成26年度事業内訳　　（単位：千円）

区　　分	事業費	施行内容
1　配水施設	337,522	配水管布設替 常磐関船町志座配水管改良工事外11路線 φ 100mm～φ 400mm　　L＝ 2,356m
2　消火栓施設	8,349	14基
3　用地費	0	
4　測量調査費	35,468	窪田通配水管改良測量設計委託外４件
5　補償費	0	
6　負担金	94,979	常磐線湯本・内郷間202ｋ895ｍ送配水管新設工事負担金
7　事務費	46,761	
合　　計	523,079	

（配水課）

３　いわき市水道事業経営審議会

⑴　第14次いわき市水道事業経営審議会からの答申

いわき市水道事業経営審議会は、いわき市水道事業の円滑な経営を図るため、市長の諮問に応じ、水道事業の経営に関し必要な事項を調査審議する機関である。平成12年４月にいわき市水道事業経営審議会条例の改正を行い、委員の任期を２年とし、常設の機関とした。

第14次水道事業経営審議会は、市長から「今後の水道事業経営について」として諮問を受け、前年度に引き続き、中期経営計画の計画期間の改定と新たな基本計画のあり方の２点について、11回にわたる慎重かつ精力的な審議がなされ、平成26年10月20日に同審議会から答申をいただいた。

答申の要旨は次のとおりである。

ア　中期経営計画の計画期間の改定（平成28年度までの経営）

現行の中期経営計画の計画期間は、平成26年度までとなっているが、東日本大震災の影響により繰り延べられている一部事業の着実な実施を図る必要があるほか、震災復興関連事業の継続実施が予定されていること、平成28年度までの期間内の財政収支見通しにおいて、各事業を着実に実施するための資金が確保され、現行の水道料金体系を維持したままでの事業経営が可能な見込みであることなどから、現行の中期経営計画の計画期間を上位計画である基本計画（平成19～28年度）の計画終期にあわせて平成28年度まで２年間延長する改定を妥当と判断する。

イ　新たな基本計画のあり方（平成29年度以降の経営）

平成29年度を計画期間の初年度とする新たな基本計画のあり方に関して審議を行い、今後次のとおり水道施設の再構築等の取組を進めるべきである。

(ｱ) 水道施設の再構築

給水量の減少による施設稼動率の低下と事業効率の悪化に対処し、また、効率的な施設の更新を図るためには、水道施設全体の見直しをしていく必要がある。

見直しにおいては、災害時に必要となる一定程度の予備能力を考慮した上で、施設能力の最適化の検討を進め、安定給水とあわせて余剰の施設を削減する水道施設の再構築（浄水場、配水池、ポンプ場の廃止等）を進めていくべきである。

(ｲ) 水道施設の更新

老朽化した施設の更新需要の増大に対処するには、将来を見据えた施設更新の考え方を明確にする必要があり、そのためには施設を実際に使用できる年数を見極めた上で、重要度・優先度を考慮した更新基準を設定し、更新事業を行っていくべきである。

(ｳ) 水道施設更新等の事業費と建設投資可能額

現行の水道料金体系を維持した上で企業債の発行を現行水準に保つという条件のもとで投資可能額を試算したところ、このままでは将来、投資必要額を確保できなくなる状況に至る。このため、長期的視点での施設のダウンサイジングや最適な更新による事業費圧縮を図るほか、企業債の適正管理を踏まえた資金計画を立てるなど安定経営に向けた種々の取組を進めていくべきである。

○　第14次いわき市水道事業経営審議会審議日程及び内容

開催年月日	開催場所	審議時間	主な審議内容
平成24年11月20日 （第１回）	水道局 第１会議室	14:30 ～ 16:10	・委嘱状交付 ・諮問 ・審議会設置の経緯 ・審議会の日程
平成25年１月22日 （ﾌﾟﾚｽﾀﾃﾞｨﾐｰﾃｨﾝｸﾞ）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:00	・水道事業の概要
平成25年３月19日 （ﾌﾟﾚｽﾀﾃﾞｨﾐｰﾃｨﾝｸﾞ）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:00	・水道財政のしくみ
平成25年５月14日 （第２回）	現地	13:00 ～ 17:00	・水道施設視察 （平浄水場、水質管理センター、夏井川幹線管路トンネル　外）
平成25年７月25日 （第３回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:15	・水道事業経営プラン （基本計画、中期経営計画） ・国の新水道ビジョン
平成25年９月26日 （第４回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:05	・給水人口、給水量、給水収益の将来見通し
平成25年12月11日 （第５回）	労働福祉会館 大会議室２	15:00 ～ 17:00	・水道施設の更新需要
平成26年１月30日 （第６回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:00	・水道施設の更新需要への対応の考え方
平成26年３月20日 （第７回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:10	・水道施設の更新需要への対応 ・建設投資可能額の試算
平成26年５月22日 （第８回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 16:55	・基幹浄水場連絡管整備事業 ・水道施設更新等の事業費
平成26年７月９日 （第９回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:15	・中期経営計画の改定 ・今後の財政収支見通し
平成26年８月５日 （第10回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:00	・これまでの審議会意見等の整理
平成26年８月28日 （起草委員会）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 17:00	・答申案の作成
平成26年９月18日 （第11回）	水道局 第１会議室	15:00 ～ 16:30	・答申案の審議
平成26年10月20日 （答申）	秘書課 応接室	11:00 ～ 11:20	・答申

○　第14次いわき市水道事業経営審議会委員

（五十音順・敬称略）

役　　職	氏　　名	所　　属　　等
会　　長	大　川　信　行	東日本国際大学 名誉教授
副　会　長	初　瀬　富士美	生涯学習コーディネーター
委　　員	石　山　伯　夫	㈱マルト 管理本部副本部長
〃	海　野　守　江	いわき市地域婦人会連絡協議会 方部長
〃	佐　藤　和　良	連合福島いわき地区連合会 副議長
〃	佐　藤　弓　子	いわき商工会議所女性会 会長
〃	高　橋　孝　光	いわき地区商工会連絡協議会 理事
〃	松　浦　晋　也	小名浜製錬㈱小名浜製錬所 副所長
〃	水　庭　　誠	㈳いわき青年会議所 副理事長
〃	緑　川　美彌子	いわき市消費者団体連絡協議会 理事
〃	村　田　和　子	いわき明星大学 薬学部 教授
〃	村　田　裕　之	公認会計士
〃	矢　作　すみ枝	塾講師
〃	山　田　　肇	公募
〃	吉　田　恭　子	公募

（委員の任期　平成24年11月１日～平成26年10月31日）

(2) 第15次いわき市水道事業経営審議会への諮問

前委員の任期満了に伴い、平成26年11月20日に市長から新たな15名の委員への委嘱と次の諮問がなされた。

○ 諮問について

今後の水道事業経営について

- 新たな基本計画について
- 次期中期経営計画について
- その他（上記に付随して必要となる事項）

○ 第15次いわき市水道事業経営審議会委員

（会長　大川信行　　副会長　初瀬富士美）

区　　分	氏　　名	所　　属　　等	備　考
学識経験を有する者 ３名	大　川　信　行	東日本国際大学 名誉教授	継　続
	村　田　和　子	いわき明星大学 薬学部薬学科 教授	継　続
	村　田　裕　之	公認会計士	継　続
水道使用者 10名	石　山　伯　夫	株式会社マルト 管理本部副本部長	継　続
	井　上　広　信	連合福島いわき地区連合会 事務局次長	
	岩　崎　槇　子	いわき市消費者団体連絡協議会 会員 （木曜生活の会　副会長）	
	佐　藤　弓　子	いわき商工会議所女性会 会長	継　続
	高　橋　孝　光	いわき地区商工会連絡協議会 理事	継　続
	長谷川　純一郎	公益社団法人いわき青年会議所 副理事長	
	初　瀬　富士美	生涯学習コーディネーター	継　続
	古　川　広　子	いわき市地域婦人会連絡協議会 方部長	
	松　浦　晋　也	小名浜製錬株式会社小名浜製錬所 副所長	継　続
	矢　作　すみ枝	塾講師	継　続
市長が必要と認める者 ２名	山　田　　肇	公募	継　続
	吉　田　恭　子	公募	継　続

（任期　平成26年11月20日から平成28年11月19日まで）　　（敬称略）

（経営企画課）

4　いわき市水道水源保護審議会

(1) 第10次いわき市水道水源保護審議会からの答申

いわき市水道水源保護審議会は、いわき市の水道に係る水質の汚濁を防止し清浄な水を確保するため、市長の諮問に応じ、水道水源の保護に関する重要な事項について調査し審議する機関である。平成４年５月に設置し、平成20年８月から常設の機関とした。

第10次水道水源保護審議会は、前年度に引き続き、諮問事項である「水道水源保護地域に関することについて」及び「排水基準に関することについて」など水道水源の保護に関することについて、４回にわたり慎重な審議がなされ、平成26年７月７日に同審議会から答申をいただいた。

答申の要旨は次のとおりである。

ア　水道水源保護地域に関することについて

現在、保護地域の見直しに該当する案件はないことから、引き続き現状の指定区域とすること。

イ　排水基準に関することについて

国の基準に変更がないことから、引き続き現行の排水基準とすること。

ウ　そのほか水道水源の保護に関する重要な事項について

水源河川上流域に位置する市町村と水質汚濁防止に関して連携強化を図るなど、現行の各種水道水源保全事業が効果的に機能していると判断されるため、引き続き現行事業を継続すること。

○　第10次いわき市水道水源保護審議会審議日程及び内容

開催年月日	開催場所	審議時間	審議内容
平成24年８月30日 （第１回）	水道局 第１会議室	10:00 ～ 11:30	・委嘱状交付 ・諮問 ・保護審議会概要説明
平成24年11月15日 （第２回）	水道局 第１会議室 平浄水場 会議室	9:00 ～ 15:30	・小野町廃棄物最終処分場の視察 ・小川江筋関場取水口視察 ・平浄水場及び水質管理センター視察
平成25年８月29日 （第３回）	水道局 第１会議室	9:30 ～ 15:15	・小野町一般廃棄物最終処分場の浸出水濃度の変遷 ・農林業系副産物等処理実証事業の進捗状況 ・農薬類の分類見直し ・四時ダム・山玉浄水場視察
平成26年３月13日 （第４回）	水道局 第１会議室	10:00 ～ 15:15	・水道水源保全事業の現況 ・答申書案の審議 ・大滝江筋用水路整備工事（トンネル）現場視察
平成26年７月７日 （答申）	秘書課 応接室	16:00 ～ 16:15	・答申

○　第10次いわき市水道水源保護審議会委員

（委員氏名は五十音順）

役　　職	氏　　名	職　　業　　等
会　　長	原　田　正　光	福島工業高等専門学校建設環境工学科教授
副　会　長	和　田　佳代子	環境にやさしいくらしかたをすすめる会会長
委　　員	赤　司　秀　明	東日本国際大学福祉環境学部教授
〃	大井川　和　弘	鮫川堰土地改良区課長
〃	上遠野　　伯　正	いわき市環境整備事業協同組合専務理事
〃	坂　本　　勉	公募
〃	鈴　木　陽　子	ＮＰＯ法人いわきの森に親しむ会正会員
〃	高　荒　智　子	福島工業高等専門学校建設環境工学科助教
〃	前　澤　由　美	公募
〃	安　室　正　彦	関東森林管理局磐城森林管理署署長
〃	矢　吹　英　信	磐城小川江筋土地改良区事務局長
〃	吉　田　一　雄	株式会社クレハ分析センター

（任期　平成24年８月１日から平成26年７月31日まで）

(2) 第11次いわき市水道水源保護審議会への諮問

前委員の任期満了に伴い、平成26年８月25日に市長から新たな12名の委員への委嘱と次の諮問がなされた。

○ 諮問について

水道水源の保護に関することについて

- 水道水源保護地域に関することについて
- 排水基準に関することについて
- そのほか水道水源の保護に関する重要な事項について

○ 第11次水道水源保護審議会委員

（会長　原田正光　　副会長　和田佳代子）

区　　分	氏　　名	所　　属　　等	備　考
知識経験を有する者 ４名	原　田　正　光	福島工業高等専門学校建設環境工学科教授	継　続
	高　荒　智　子	福島工業高等専門学校建設環境工学科准教授	継　続
	吉　田　一　雄	㈱クレハ分析センター管理本部長補佐	継　続
	佐々木　秀　明	いわき明星大学科学技術学部准教授	
関係行政機関の職員 １名	中　澤　文　彦	関東森林管理局磐城森林管理署署長	継　続
その他市長が必要と認める者 ７名	鈴　木　陽　子	ＮＰＯ法人いわきの森に親しむ会正会員	継　続
	和　田　佳代子	いわき地域環境科学会副会長	継　続
	大　森　　馨	いわき市環境整備事業協同組合専務理事	継　続
	大井川　和　弘	鮫川堰土地改良区事務局長	継　続
	平　子　作　麿	磐城林業協同組合理事長	
	金　田　秀　子	公募	
	舟　橋　　勲	公募	

（任期　平成26年８月１日から平成28年７月31日まで）　　（敬称略）

（浄水課）